

2018年3月期 本決算概要

2018年5月11日

千代田化工建設株式会社

目次

1. 決算ハイライト	2
2. 業績概要	3
3. 受注高	4
4. 受注残高	5
5. 損益計算書項目	6
6. 完成工事高	7
7. バランスシート	8
8. 2019年3月期・通期業績予想の内訳	9
9. 参考資料(経営指標)	11

1. 決算ハイライト

- ◆ 当期純利益は64億円
 - 通期予想(50億円)比、129%
- ◆ 地球環境エンジニアリングで順調な受注
 - 通期受注実績の41%を占める
 - 金額ベースでは前期比26%の伸び
- ◆ 構造改革による販管費削減
 - 販管費は前期比で7%の削減
- ◆ 米国案件で追加コスト発生
 - 営業損失、経常損失を計上

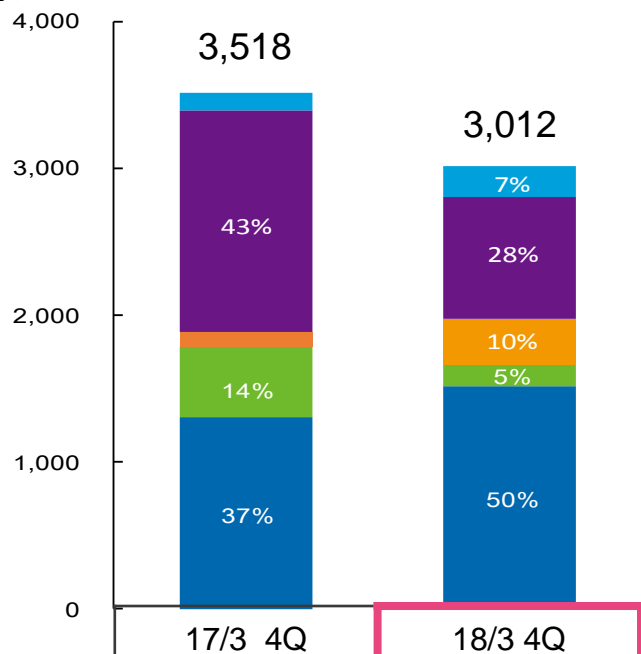
2. 業績概要

単位: 億円

	17/3 4Q	18/3 4Q	前年 同期比	伸び率	通期予想	達成率
受注高	3,518	3,012	△506	△14.4%	3,500	86.1%
受注残高	8,768	6,535	△2,233	△25.5%		
完成工事高	6,037	5,109	△929	△15.4%	5,000	102.2%
営業利益	157	△123	△280	-	△95	-
経常利益	△31	△101	△70	-	△80	-
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△411	64	476	-	50	128.9%
一株あたり配当	6.0 円	7.5 円				
為替レート	112 円/\$	106 円/\$			想定レート 110 円/\$	

3. 受注高

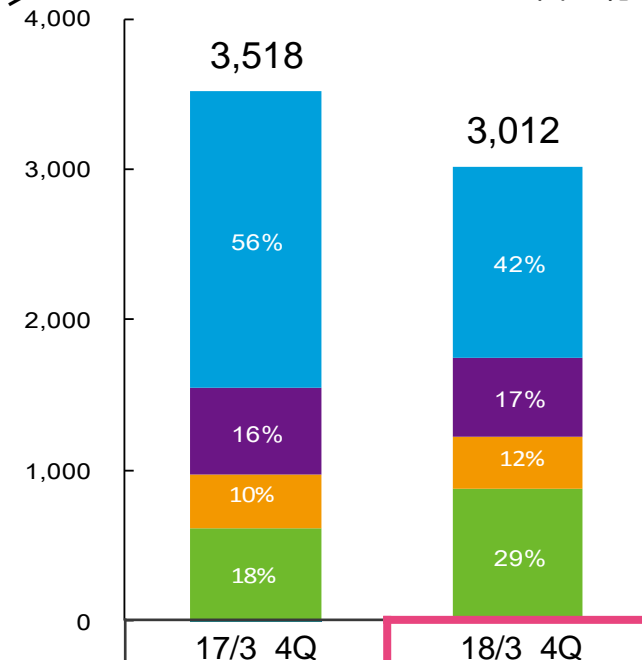
<地域別>



■ 中近東・アフリカ	120	205
■ アジア・オセアニア	1,516	831
■ 北中南米	100	307
■ その他	477	152
海外 合計	2,213	1,495
国内 合計	1,305	1,517

<分野別>

単位: 億円

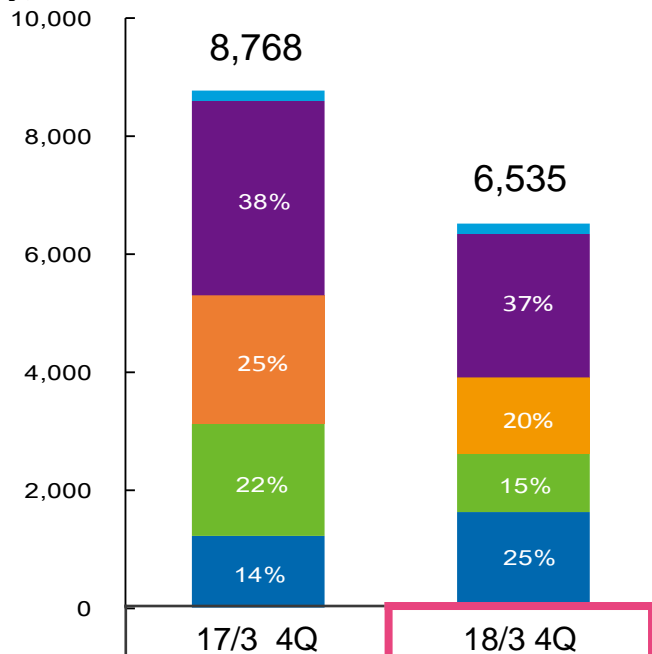


エネルギー	■ LNG・その他ガス	1,971	1,259
	■ 石油・石油化学・金属	573	526
地球環境	■ 医薬・生化学・一般化学	357	351
	■ 環境・新エネ・インフラ・その他	617	876

- 地域別: 国内は受注堅調で、通期予想1,300億円を17%上回る。
- 分野別: 地球環境分野の中でも、環境・新エネ・インフラ・その他が大きく伸展。

4. 受注残高

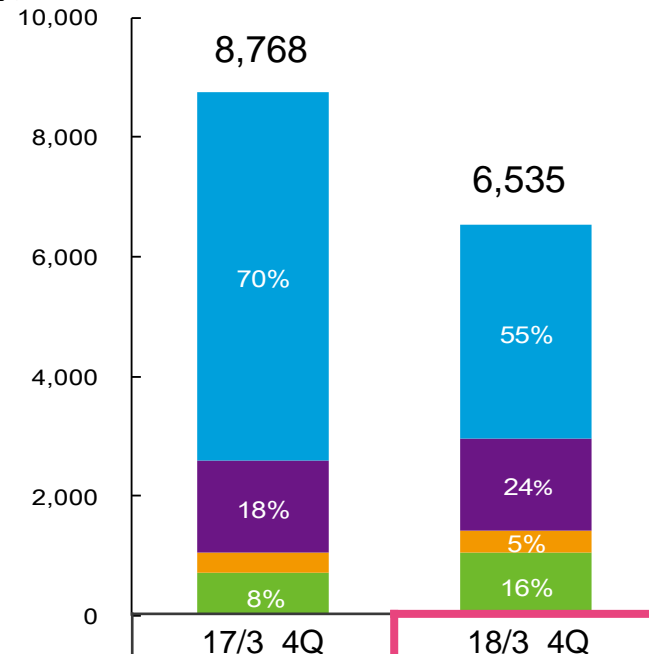
<地域別>



■ 中近東・アフリカ	167	192
■ アジア・オセアニア	3,293	2,423
■ 北中南米	2,191	1,310
■ その他	1,897	978
海外 合計	7,548	4,903
国内 合計	1,220	1,632

<分野別>

単位: 億円



エネルギー	■ LNG・その他ガス	6,170	3,566
	■ 石油・石油化学・金属	1,535	1,550
地球環境	■ 医薬・生化学・一般化学	353	361
	■ 環境・新エネ・インフラ・その他	709	1,058

- 地域別: 海外は減少するも、国内は順調な受注に伴い受注残も増加。
- 分野別: 新規LNG案件のFID期ズレにより、LNG・その他ガス分野の割合が減少。

5. 損益計算書項目

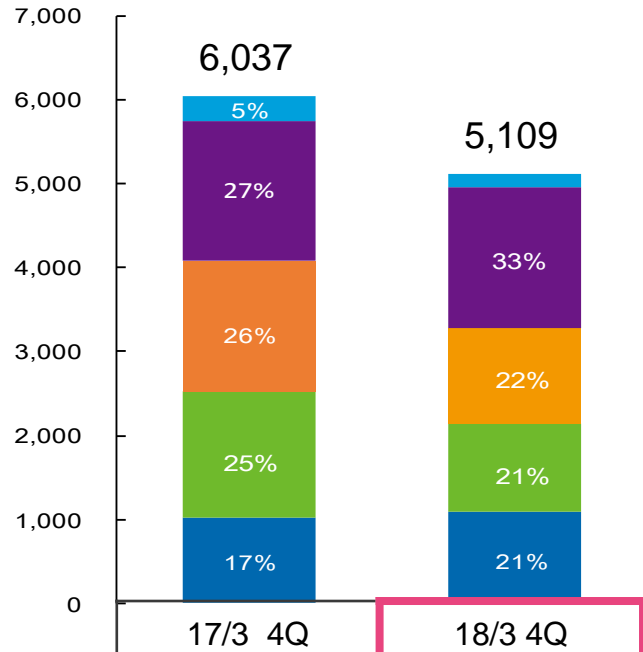
単位: 億円

	17/3 4Q	18/3 4Q	前年同期比	通期予想
完成工事高	6,037	5,109	△929	5,000
完成工事総利益	382 6.3%	86 1.7%	△296 △4.6pt	110 2.2%
販売費及び一般管理費	△225	△209	16	△205
営業利益	157 2.6%	△123 △2.4%	△280 △5.0pt	△95 △1.9%
営業外損益	△188	22	210	15
経常利益	△31 △0.5%	△101 △2.0%	△70 △1.5pt	△80 △1.6%
特別利益・損失	△233	150	383	
税金等調整前利益	△264	49	312	
法人税等	△147	16	163	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△411 △6.8%	64 1.3%	476 8.1pt	50 1.0%

- 当期純利益は通期予想を上回る。米国案件の追加コストの影響により完工総利率は1.7%。

6. 完成工事高

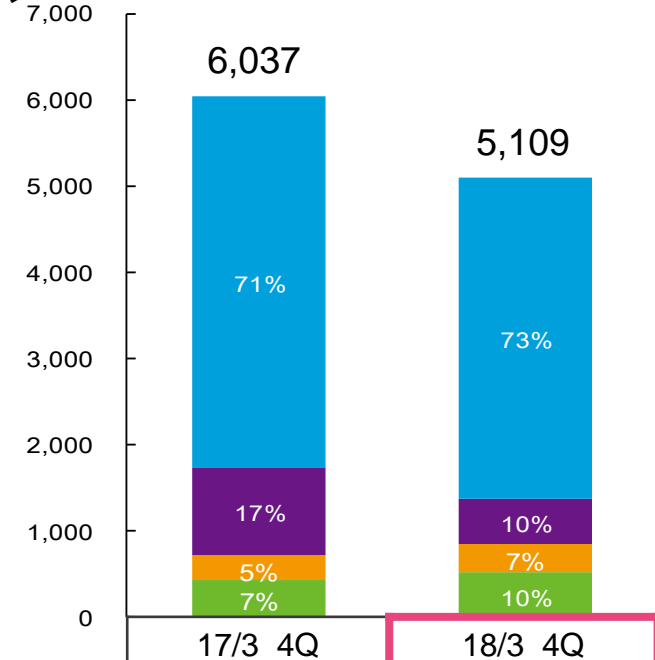
<地域別>



■ 中近東・アフリカ	288	145
■ アジア・オセアニア	1,661	1,693
■ 北中南米	1,560	1,123
■ その他	1,503	1,050
海外 合計	5,013	4,011
国内 合計	1,024	1,098

<分野別>

単位: 億円



エネルギー	■ LNG・その他ガス	4,296	3,728
	■ 石油・石油化学・金属	1,011	527
地球環境	■ 医薬・生化学・一般化学	297	337
	■ 環境・新エネ・インフラ・その他	434	517

- 地域別: 海外大型案件がピークを越え、減少傾向。国内案件は地球環境分野を中心に安定的に推移。
- 分野別: 製油所案件の完工、LNG案件の進捗により、エネルギー分野で減少。地球環境分野はメガソーラー、医薬品が寄与。

7. バランスシート

単位: 億円

	17年3月末	18年3月末	増減
【流動資産】	4,252	3,804	△448
現金及び預金等 * 1	1,434	1,040	△394
営業資産三勘定 * 2	841	928	87
JV持分資産 * 3	1,643	1,314	△329
その他	335	522	187
【固定資産】	361	403	42
有形固定資産	132	121	△11
無形固定資産	81	57	△24
投資等	148	225	77
【資産】	4,613	4,207	△406

	17年3月末	18年3月末	増減
【流動負債】	3,012	2,487	△525
短期借入金	102	0	△102
営業負債三勘定 * 4	2,453	2,239	△213
工事損失引当金	33	33	△0
関係会社事業損失引当金	229	0	△229
その他	195	214	20
【固定負債】	30	126	96
長期借入金	0	100	100
その他	30	26	△4
【純資産】	1,571	1,594	23
【負債・純資産】	4,613	4,207	△406

【注】

- * 1 現金及び預金等＝現金預金＋有価証券(譲渡性預金等)
- * 2 営業資産三勘定＝受取手形・完成工事未収入金＋未成工事支出金
- * 3 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金
- * 4 営業負債三勘定＝支払手形・工事未払金＋未成工事受入金

【自己資本】	1,553	1,576	22
【自己資本比率】	33.7%	37.5%	3.8pt

8. 2019年3月期・通期業績予想の内訳

単位：億円

	18年3月期 実績	19年3月期 予想	前期実績比
受注高	3,012	8,000	4,988
海外	1,495	6,000	4,505
国内	1,517	2,000	483
完成工事高	5,109	4,000	△1,109
海外	4,011	3,000	△1,011
国内	1,098	1,000	△98
完成工事総利益	86	300	214
販売費及び一般管理費	△209	△185	24
営業利益	△123	115	238
営業外損益	22	10	△12
経常利益	△101	125	226
特別損益・税金・ 非支配株主に帰属する当期純利益	165	△60	△225
親会社株主に帰属する当期純利益	64	65	1

参考資料

9. 経営指標

	15年 3月期	16年 3月期	17年 3月期	18年 3月期	19年 3月期予想
完成工事総利益率(%)	9.5	6.8	6.3	1.7	7.5
完成工事高販管费率(%)	5.0	4.2	3.7	4.1	4.6
完成工事高営業利益率(%)	4.5	2.6	2.6	△2.4	2.9
完成工事高経常利益率(%)	4.6	2.6	△0.5	△2.0	3.1
完成工事高当期純利益率(%)	2.3	0.6	△6.8	1.3	1.6
総資産経常利益率<ROA>(%)	4.5	3.1	△0.6	△2.3	
自己資本当期純利益率<ROE>(%)	5.5	1.7	△23.1	4.1	
一株当たり当期純利益<EPS>(円)	42.6	13.0	△158.8	24.9	
一株当たり純資産<BPS>(円)	796.9	772.9	599.8	608.4	
自己資本比率(%)	40.0	37.9	33.7	37.5	
流動比率(%)	151.0	146.3	141.2	153.0	
固定比率(%)	34.5	36.6	23.2	25.6	
負債純資産倍率<DER>(倍)	0.05	0.05	0.07	0.06	

この資料には、本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】
千代田化工建設株式会社
IR・広報・CSR 部

TEL. 045-225-7734

URL <https://www.chiyodacorp.com/jp/>



© Chiyoda Corporation 2018, All Rights Reserved.



経営現況報告

2018年5月11日

千代田化工建設株式会社

目次

1. 事業環境	2
2. 今期の事業展開	3
3. 2019年3月期連結受注高予想	6
4. 事業トピックス	7

1. 事業環境



エネルギー分野

- アジアを中心とした天然ガス需要の増加。新規大型LNG案件のFID*期待
- 原油は、協調減産効果・新興国の需要増加により需給バランス改善
- 米国シェール由来の石油・石油化学案件の投資・開発継続



地球環境分野

- 脱炭素社会の到来を意識した再生可能エネルギー分野の投資拡大
- 蓄電・蓄エネ技術の進歩
- 中分子医薬、バイオ・抗体医薬品への投資意欲堅調



デジタル技術
革新分野

- エネルギー・電力分野のAI・Big Data・IoT活用の促進
- デジタル技術の急速な進化と選択肢の広がり

*FID:最終投資決定



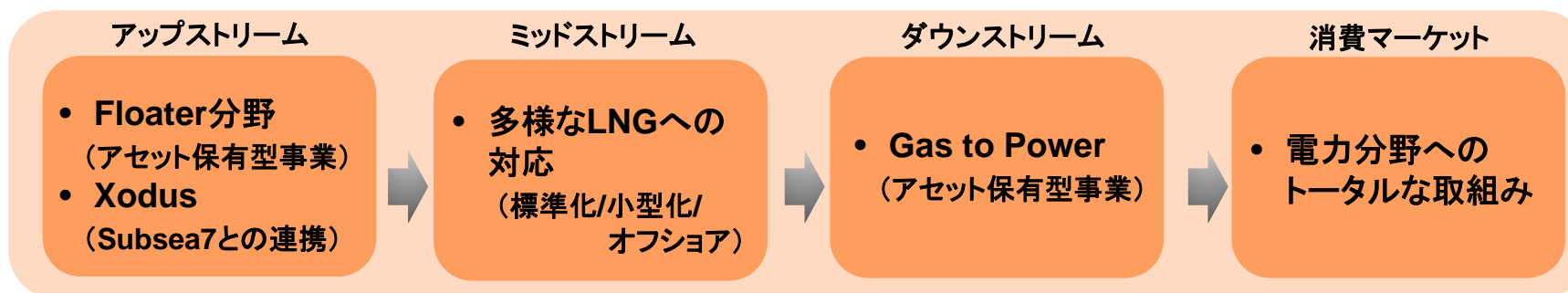
2. 今期の事業展開(エネルギー分野)

<海外大型案件の受注積み増しとバリューチェーンの構築推進>

1) 大型EPC*案件

LNG・ガス	石油・化学・金属
<ul style="list-style-type: none">■ 実現度の高い案件■ 豊富な実績を持つ顧客案件■ 有望な新市場開拓	<ul style="list-style-type: none">■ 差別化可能な案件■ 競争環境が限定的な案件
米国、モザンビーク、パプアニューギニア カタール、ロシア、他	米国、インドネシア、他 国内

2) バリューチェーン事業の構築推進

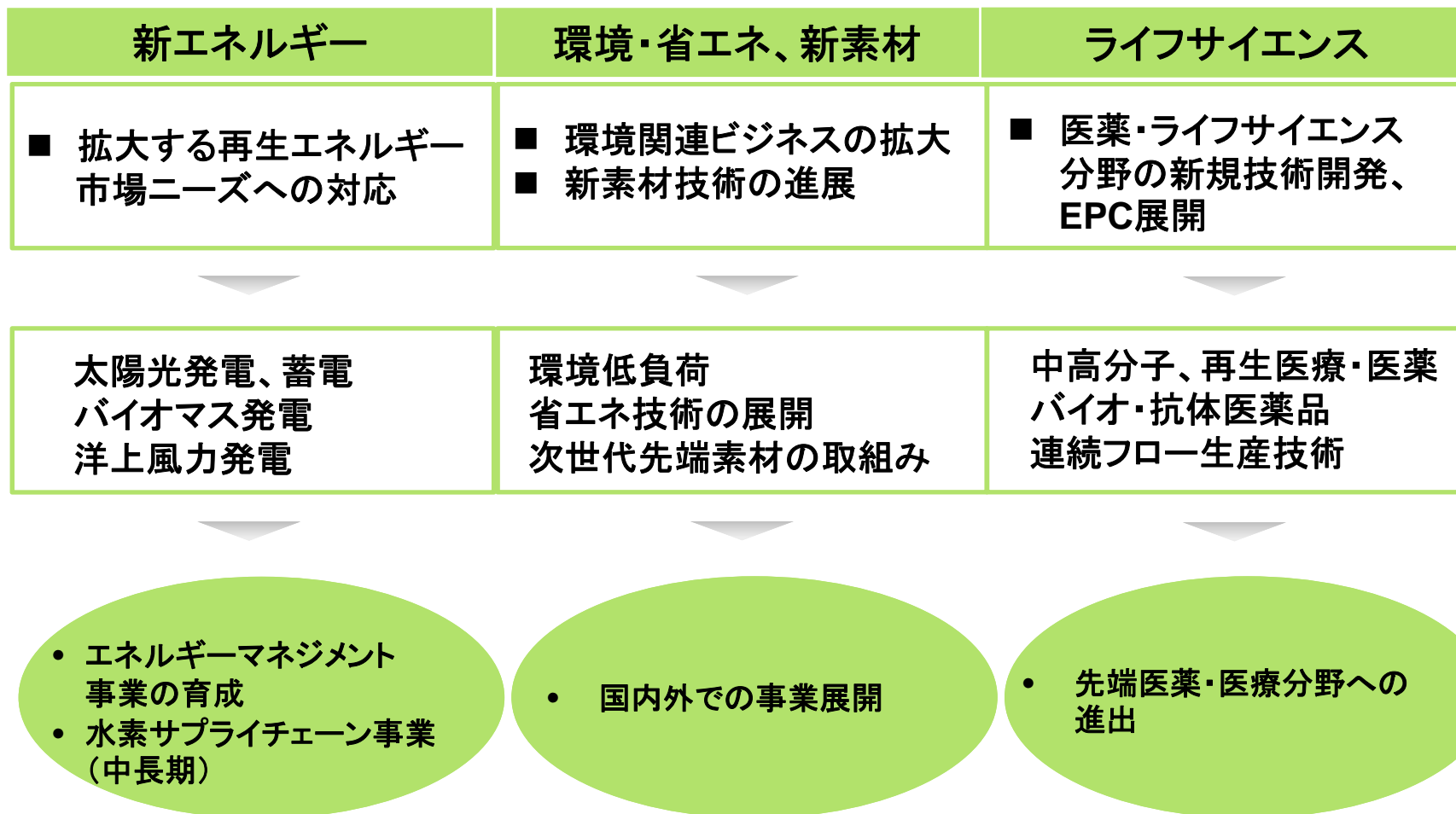


*EPC: 設計・調達・建設



2. 今期の事業展開(地球環境分野)

<新エネルギー、環境・省エネ、新素材、ライフサイエンスの事業拡充>



2. 今期の事業展開(デジタル技術革新分野)



<AIを含めたデジタル戦略の加速>

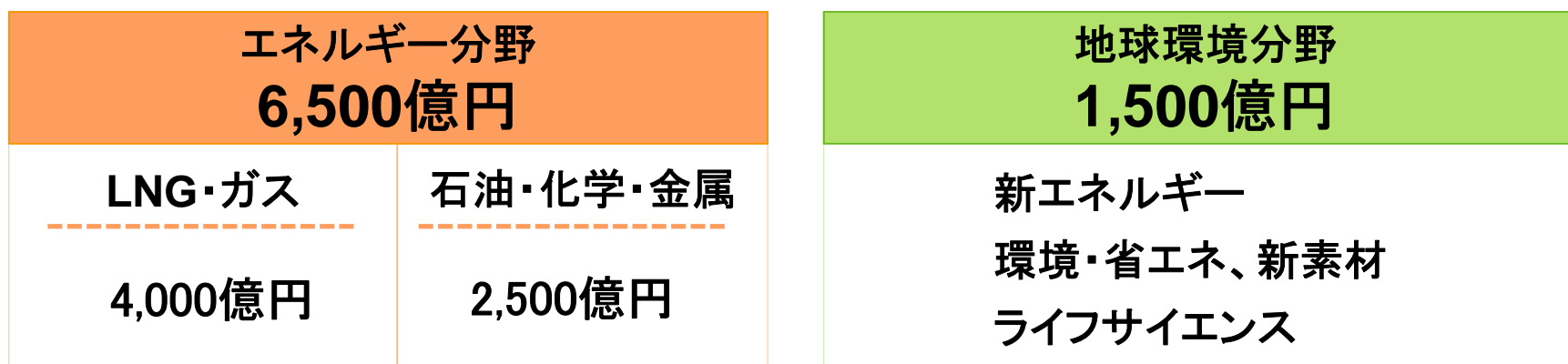
全社デジタル化	新ビジネスモデル開発
グループ全体のデジタル化を加速し、EPC遂行改革を実現	高度解析などの各種プラントエンジニアリング技術とデジタル革新技術の融合

パートナーリングの拡大

- プラントスマートIoTサービスの開発と提供
- AIテクノロジーを融合したサービスの開発と提供
- プラントデジタルツインを軸にしたサービスの開発と提供

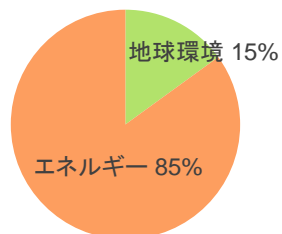
3. 2019年3月期 連結受注高予想

8,000億円

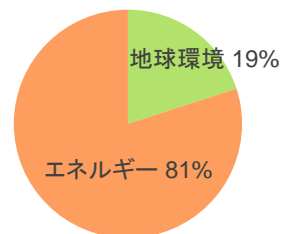


【参考：収益ポートフォリオ 推移】

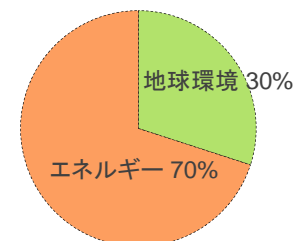
2013年度～16年度実績平均
(2017年8月発表 中期経営計画より)



2018年度受注予想
(今回)



2020年度予想
(2017年8月発表 中期経営計画より)



4. 事業トピックス



Courtesy of JSC Yamal LNG

ヤマルLNG 第1系列の生産開始

2017年12月、第1系列の引渡し完了。
第2系列、第3系列は、2018年、2019年に
順次完工予定。



Courtesy of Qatargas Operating Company Limited

ノースフィールド拡張案件FEED*業務受注

カタールペトロリアム社向け。
780万トン×3系列及び将来の1系列の増設
を目指す。

*FEED: 基本設計

4. 事業トピックス



当社撮影写真

国内エネルギー分野での成果

出光興産株式会社向けガソリン留分から混合キシレンを抽出する為の設備建設工事。ベースロードである国内にて順調に実績を積み重ね。



当社「医薬品エンジニアリング」カタログより

中分子医薬品製造施設への参画

世界的に大幅な需要が見込まれる中分子医薬品の一種であるペプチド医薬品の開発及び製造施設のEPC業務を受注。当社も本事業に出資者として参画。

4. 事業トピックス



当社撮影写真

水素サプライチェーン実証事業の着工

ブルネイにて、2018年4月、水素化プラントの地鎮祭実施。SPERA水素技術^{*1}を用いたブルネイと日本を繋ぐ世界初の国際間水素サプライチェーン実証事業は2020年開始予定。



JETRO提供

ADNOC LNG^{*2}向けデジタル技術提供

当社のプラントエンジニアリング技術と最先端AI技術を融合したデジタル技術提供により、プラントの最適運転・保全、生産効率の改善を目指す。

*1 SPERA水素: 当社が開発した水素を常温常圧で大量貯蔵輸送を可能にする技術

*2 ADNOC LNG: アブダビ・ガス液化公社

「未来エンジニアリングへの挑戦」



© Chiyoda Corporation 2018, All Rights Reserved.



この資料には、本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】
千代田化工建設株式会社
IR・広報・CSR 部

TEL. 045-225-7734

URL <https://www.chiyodacorp.com/jp/>



© Chiyoda Corporation 2018, All Rights Reserved.

